

2025年度 国家公務員共済組合連合会 立川病院 (病床数 450) 【1年次】

常勤・非常勤	研修手当						休暇				当直 /月	宿舍	社会保険・労働保険等		
	基本手当		賞与		時間外	休日	勤務時間		有給					夏季	年末年始
	1年次	2年次	1年次	2年次			1年次	2年次	1年次	2年次					
常勤	300,000		300,000		無	無	8:30~17:15	10		有	無	3~4回 (手当支給有)	無(住居手当月額 2万8千円を上限として支給)	社会保険・厚生年金・労働保険等	

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
内科	慶應義塾大学内科の伝統を受け継ぎ、全人的医療を実現するべく、あらゆる疾患に対応できるように、研修医のみならずスタッフ医師も日々学んでいく姿勢を大事にしています。内科スタッフが協力して一人の患者さんを診療する風通しの良い体制を誇りとしています。6診療分野(呼吸器、循環器、消化器、神経、血液、腎臓・内分泌代謝)を1か月単位でローテーションしながら、一般臨床医として基本となる考え方、臨床技術、治療を学び、特にプライマリ・ケアの場面で頻回に遭遇する主訴にどのように対応し、検査・治療を進めるかという点を重視した教育を行っています。症例は豊富にあり、内科全領域の疾患を幅広く経験することができます。リウマチ・膠原病内科の専門外来(非常勤)もあります。手技についても、内視鏡・心臓カテーテル・IVH等一通り経験することが出来ます。現在、内科の常勤スタッフは25名、うち日本内科学会指導医23名、臨床研修指導医9名です。また、新専門医制度(医師3年目以降の後期臨床研修)では、内科領域の基幹施設となっています。
救急科	当院は東京都北多摩西部二次医療圏において、中心的役割を果たす高度急性期病院です。救急車の年間受入れ台数は5,000台程度となります。救急科の研修は、平日8:30~17:15、第2・4土曜8:30~12:30に、救急外来に常駐する救急専門医が指導し、ER搬入患者のファーストタッチを担当するほか、救急科研修中には、救急車同乗研修も行います。救急車搬入患者は、小児から高齢者、内科疾患から外傷まで多岐にわたり、縫合、ベッドサイドエコー、OPRなどの手技や、CTなどの救急画像診断、そして緊急度に基づいた救急診療能力を身に付けます。
外科	『外科志望の研修医、大歓迎です!』(病院長は消化器外科医です!!) 外科的疾患の手術適応、術前検査、術後管理などの基礎的知識やプライマリ・ケアの実践に求められる切開・縫合などの基本的手技を習得することを目的に研修を行います。一般消化器外科を中心に、肝胆道外科・乳腺外科・血管外科・呼吸器外科・脳神経外科のサブスペシャリティについてバランスよく研修し、実践的知識や基本手技を習得することで、外科系非外科系のどの診療分野に進んだとしても生かせるような基礎的知識・技能を身につけるとともに、後期研修で外科を専攻する場合は、そのキャリアにスムーズに進めるような程度の専門的手技も経験できるよう配慮しています。入職初期のシミュレーションラボセンターでの縫合やCV穿刺トレーニングに加え、内視鏡手術体験トレーニングや各サブスペシャリティの指導医による日常的なレクチャーが実施されます。
小児科	ローテート不可
産婦人科	周産期母子医療センターの指定を受けており、小児科との密な連携のもとに妊産婦ならびに新生児の医療に必要な基本的知識を研修します。また、女性特有の疾患による救急医療、女性特有のプライマリケアについての知識技能について研修します。
精神科	精神症状を有する患者ひいては医療機関を訪れる患者全般に対して、特に心理・社会的側面からも対応出来るために、基本的な診断及び治療ができ、必要な場合には適宜精神科への診察依頼が出来るような技術を習得します。また、都内で2か所のみ精神身体合併症病棟を運用しており、身体疾患を有する精神科患者の管理の実際を研修できます。希望に応じ、精神科救急、アルコール精神疾患、小児精神疾患の研修も可能な環境を整えています。
一般外来	内科ローテート中に並行研修を行います。

必修科目の研修ができない場合、選択可能な診療科
全必修科目の研修が可能

○研修アピール
当院は「大学病院に勝るとも劣らない医療水準」を目指しています。幅広い診療科を有し、周産期母子医療センターから認知症疾患医療センターまで、人の一生に関わるトータルケアを実践し、「赤ちゃんからお年寄りまで」をモットーに多摩地区において中心的役割を果たす高度急性期医療機関として機能しています。
基幹型では学年5名、協力型では慶應を含め数名の研修医が全国から集まって、各々切磋琢磨してきた病院です。積極性と協調性のある研修医を求めており、お互いを高めたいける人材が集まります。
また、医師としての人格を涵養し、将来の専門性にかかわらず、医学・医療の社会ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的診療能力を身につけることを基本としていますが、本人の希望や積極性に柔軟に対応し、より高度な知識・技能まで身につけるチャンスを提供しています。
是非われわれと一緒に明日の医療を担う医師を目指してがんばりましょう。
【当院の特徴】
① 内科7分野、外科5分野をはじめ、幅広い専門診療分野をカバー
② 市中病院としては最大級の診療科を擁しており、診療科間の協力体制が強固
③ 医学部・薬学部、看護学校、各種技師などの医療福祉系学校、救命救急士などの教育指導機関であり、教育に暖かく熱心な風土
④ 2学年で10数名程度の少数教育、研修医の自主性・積極性を尊重したプログラム、能力に応じ後期研修レベルの手技まで積極的に指導
⑤ 地域医療支援病院、東京都災害拠点病院、東京都地域救急医療センター、東京都がん診療連携拠点病院、周産期母子医療センター、精神身体合併症病棟、東京都難病医療協力病院など、高度かつ特色のある中核的機能
⑥ 研修医室、図書室の整備、院内情報システムより医中誌・PubMed・Up to Dateなど各種データベース使用可
⑦ 2017年夏 新病院棟稼働

○研修医からのメッセージ
後期研修医から各領域の専門医の先生まで、世代を超えた教育体制と、個々の自主性を重視したプログラムが特徴で、積極的に行動すれば初期研修医のレベルを超えた技術を身につけられます。病院の規模に対して研修医数が少ないため、症例・患者数が足りないことはなく、common diseaseの診療をしっかりと学べます。コメディカルのスタッフとの関係も非常に良く、とても働きやすい環境でもあります。受身でいるよりも、自ら学ぼうとする意欲を持った人にこそマッチした病院と思います。

以下、慶應義塾大学病院から研修医への注意事項

- ・外科研修はその他の外科系の診療科への振り替えは認めません。
- ・必修科目がある病院では、必ず必修科目を研修してください。振り替えは認めません。

研修実施責任者： 森谷和徳

※問い合わせ先
担当部署・担当者名： 臨床・教育研修センター 高安

住所： 立川市錦町4丁目2番22号

TEL： 042-523-3131

E-mail： cec@tachikawa-hosp.gr.jp